

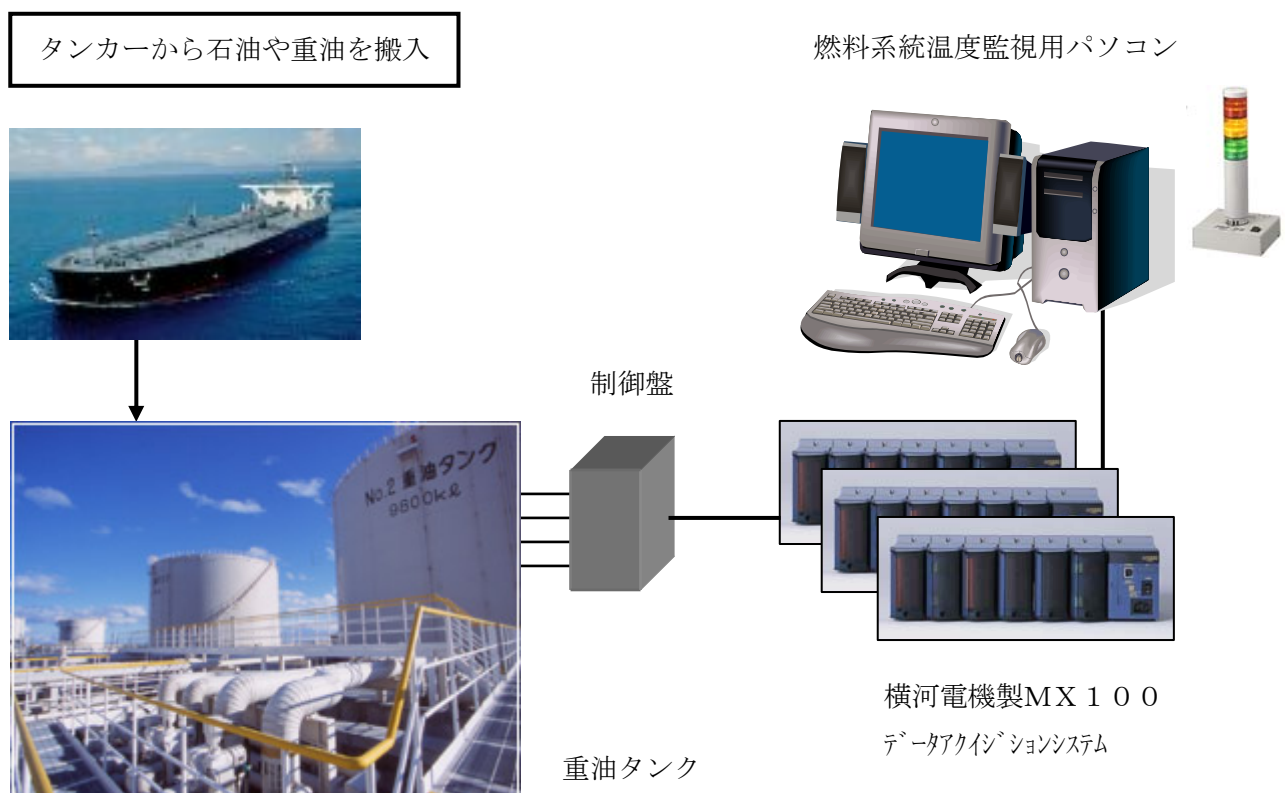
計測制御分野で最新のシステムを提供する

ハビリス納入事例紹介

火力発電所燃料設備温度監視システム

火力発電所で使用する燃料は軽油、重油、原油、石炭、LNG等、多岐にわたっています。当事例は、火力発電所の燃料である軽油や重油を一時的に保管する燃料タンクからボイラーまでの燃料系統の温度監視を「MX100」と「ウェーブリサーチャー」を組み合わせで行なっている事例であり、複数の燃料タンクや配管系に多数設置されている温度センサのデータをリアルタイムに収集し監視を行なっております。燃料油はその流動性の問題から貯蔵タンクや配管系を常時蒸気による加熱を行なう必要があります。発電所稼動中には発電にともしない発生する蒸気を使用できますが、停止中の場合には補助ボイラーを使用する必要があります。省エネの面でも蒸気の効率的な利用が求められています。

(1)システム概要



「システムの概要」

(1)当システムは、火力発電所で使用する燃料系統の温度を集中監視する目的で導入されました。燃料として使用されている重油や原油は流動性が低いことから、燃料タンクや配管系統は常時蒸気による加熱が必要になります。

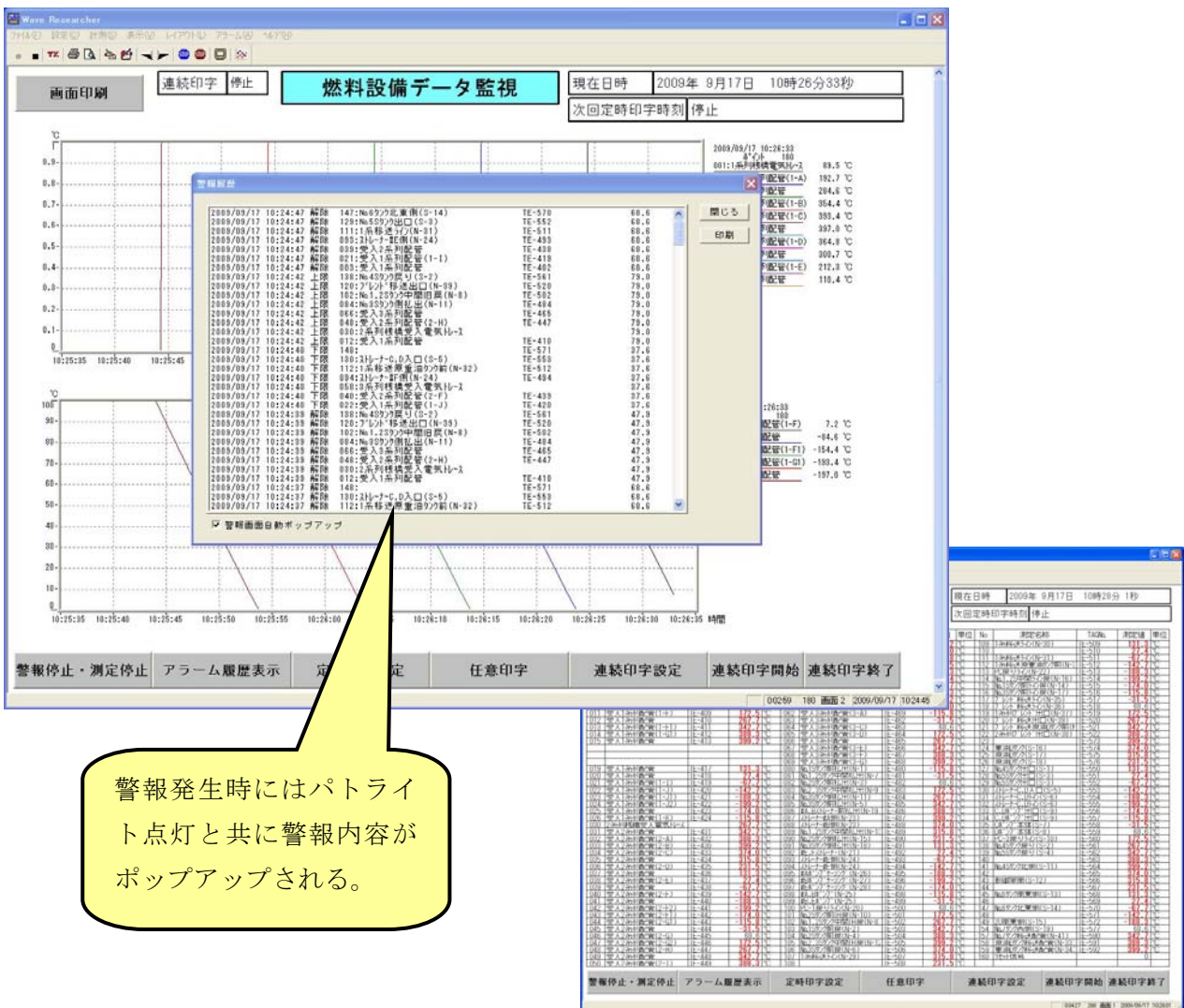
多数の温度センサからのデータを「MX100」と「ウェブリサーチャー」で監視することで、燃料タンクや複雑な燃料配管系中の燃料の流動性の確保と蒸気の有効利用を両立させるために役立っております。

(2)主な処理内容と「ウェブリサーチャー」の改造点について

①燃料タンクや燃料配管系に多数設置してある温度センサに4段階の温度警報設定を行い、常時監視しています。警報が発生した場合には、外部接続されているパトライトを点灯させ、画面上にも警報内容がポップアップ表示されます。

②燃料系温度監視帳票（日報、月報）を自動的に印刷する機能を追加しました。

(画面表示例)



お問い合わせ先
 株式会社ハビリス システム営業部 〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル
 URL: <http://www.habilis.co.jp> Tel : 03-3769-6291 Fax : 03-3769-6285